

# いたばしカルタ競技会 〈団体戦規則〉



## 〈いたばしカルタの遊び方〉

「いたばしカルタ」は、板橋区民のみなさんから「ふるさと板橋への想い」を詠み句として応募していただき作られました。楽しく遊びながら、板橋の歴史、文化、産業、名所などを理解し、「ふるさと板橋」をいつそう好きになっていただきたいという思いが詰まっています。勝ち負けばかりにこだわらず、マナー、ルールを守って、なごやかに楽しく遊びましょう。

## いたばしカルタの会

# いたばしカルタ団体戦(3人チーム)規則

## ●競技に使用する札

取り札（絵札）、読み札とも 44 枚です。

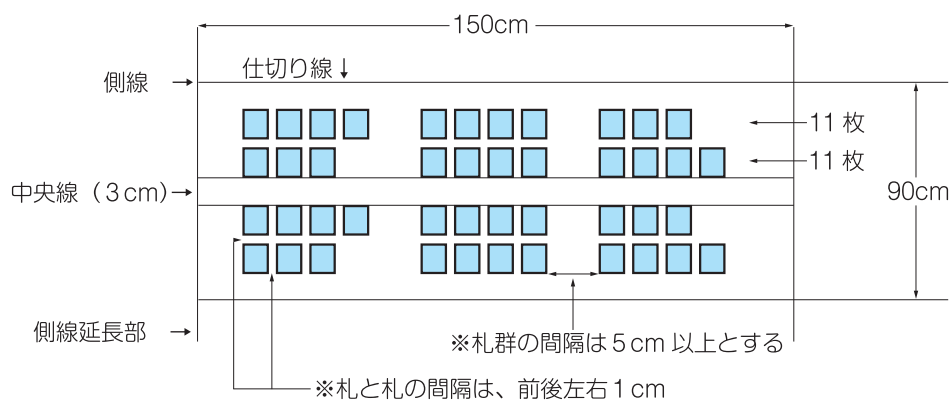
## ●競技の方法

家庭などで楽しむ場合には、自由にルールを考えて遊んでください。

ここでは、カルタ大会競技の団体戦について説明します。個人戦は団体戦に準じます。

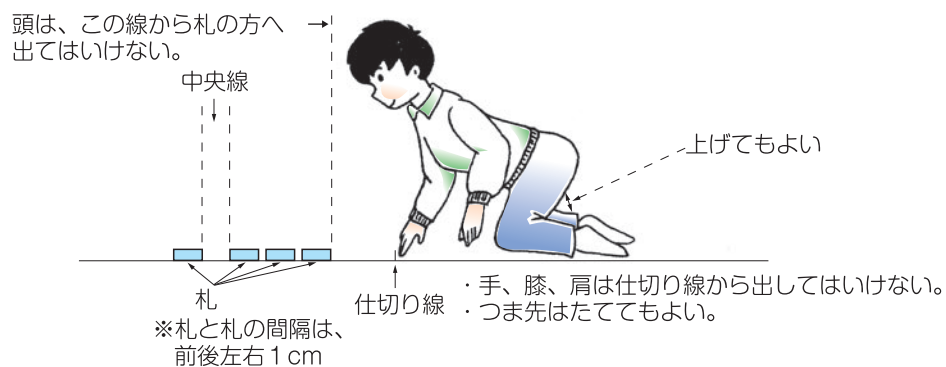
## ●団体戦 3人1組となって、2組で対戦します。

団体戦コート及び札、札群の配置



## ●競技者の姿勢と位置

競技者の姿勢と位置（横から見た姿勢と位置）



## ●競技の要員

### ①進行役 1～2名

競技の進行をつとめます。人数が少ない時は、読み手が兼ねることができます。

### ②読み手 1～2名

読み札を読み上げます。

### ③審判員(公式競技の場合) 各試合に1～2名

競技を公平に審判します。

※非公式戦で要員が少ない時は、3つの役目を1人で兼ねることができます。

## ●競技の準備

①向かい合って3人ずつ、一列に並んで座ります。この陣の中は1.5メートル以内とし、この陣の中に適度な間をあげ、両膝を揃えて（お尻は上げてよい）、3人が座ります。

※個人戦では札を並べる巾を0.7メートル以内とします。

②中央の選手が代表となって、進行役の合図でジャンケンをし、勝った方が札をよく切って、22枚ずつに分け、前に置きます。ジャンケンに負けた方がどちらかを選んで取り、勝った方は残った札を取ります。

③札の並べ方

取り札は、自陣の前に、団体戦は二段、個人戦は三段に、それぞれ均等に並べます。

その時、相手の札との間は3センチあけ、格段の間および左右の間は約1センチあけ、札と膝がしらの間は20センチ以上あけます。

この決まりに外れなければ、札の並び方を工夫してもかまいません。ただし、団体戦の持札は、1人が8枚、他の2人が7枚ずつとします。

④記憶タイム

取り札を並べ始めてから5分間を記憶するための時間とします。

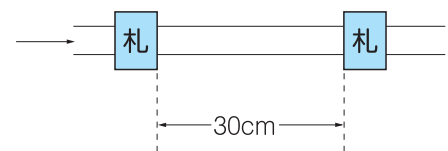
## ●競技の開始

①競技の開始は、読み手が「空札」として「く」の札「区名の由来 石神井川の板の橋」を2回読みあげます。2回目を予令として、3回目に読む札から取り始めます。その後は、今取った札を予令としてもう一度読み、この繰り返しで進めます。

②競技中は札の位置は変えられません。ただし、空いたところが出て、相手の了解があれば、変えることができます。

③取り札が最後の2枚になったら、横に30センチ離して中央に並べ、各組代表1名ずつが競い、1枚を取った者が残りの1枚も取ります。

最後の2枚札の配置(コートのほぼ中央)



## ●勝敗

獲得した札の数が多い方が勝ちとなります。同数の場合は「く」の札がある方を勝ちとします。

## ●競技上の注意

①札を取る際は、押さえても、はじいても、押しても引いてもかまいません。札に指が先に触れた方が勝ちです。

②札は片手で取ります。使わない手は膝に置くなどして、膝から前を出してはいけません。使う手も、札が読まれるまでは同様です。両手を使ったり、札にかぶさってははいけません。

③お手つき

読まれた札のない陣の札に触れたら「お手つき」として、取った札の中から1枚を相手に渡します。味方の2人以上が同時にお手つきしても渡す札は1枚でよいこととします。

④あいこ

取り札に触れたのがまったく同時だった場合は、持ち札側にゆずります。

⑤競技を始める時とおわった時には、「札」を交わします。

⑥相手に不審、不満があっても、直接「言い争う」ことは避け、審判を通じて意見を述べ、審判の判定に従います。

## 〈いたばしカルタ とは〉

私たちが暮らしている板橋区は、時を刻んだ歴史、豊かに育まれた文化、印刷・光学・精密加工などの産業、眺め憩える名所など誇れるものがたくさんあります。

区民のみなさまの心にある板橋のいいこと、いいもの、いいところを集めた郷土カルタを作り、残し、伝えたい、という想いから生まれました。

子どもからお年寄りまで一緒に楽しめる「カルタ」という遊びの中で、知らなかった板橋を知り、理解を深め、伝えていきましょう。

区制 80 周年にあたる平成 24 年に時期を合わせて、区民のみなさまの心にある「ふるさと板橋への想い」を詠み句として多数のご応募をいただき、44 枚の「いたばしの宝」をつくりあげました。読み札の裏面には読まれているテーマにちなんだ「まめ知識」で解説を載せています。

ご家庭で、学校で、町会・商店街・老人会などのイベントに合わせて遊び、またカルタ大会を通して、しっかりと心に刻み、区民のみなさんと共に「ふるさと板橋」を語り、さらに好きになっていただきたいと願っています。

そしてぜひ、板橋区外の大切な方々、ご家族、ご親戚、友人、知人に「いたばしカルタ」を贈り、私たちの「ふるさと板橋」を知っていただき、好きになっていただきましょう。

「いたばしカルタ」のホームページでは、「いたばしカルタ」を手がかりにして、板橋区内を楽しむいろいろなご提案を追加更新してまいります。折にふれて、ぜひアクセスしてください。

この「いたばしカルタ」に出会ったことをきっかけに、もっと板橋を知りたい、自分で発見しようという気持ちが芽生え、楽しみながら「ふるさと板橋」への愛をいっそう育てただけでしたら幸いです。未永く「いたばしカルタ」をよろしく願います。

「いたばしカルタ」の完成にあたり、感謝をこめて  
(平成 24 年 10 月吉日)

ホームページ：<http://itakaru.jp/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/itabashi.karuta>

### いたばしカルタ

発行：いたばしカルタの会

後援：板橋区

企画・デザイン・製作・販売：いたばしデザインサポート

〒174-0072 板橋区南常盤台 2-15-2-101 (ムラカミデザイン内)

TEL.03-3956-8926 FAX.03-3958-9118

詠句作成：いたばしを愛する人々

いたばしカルタ選考委員会

イラスト：まつもとや

キャラクター：オルカ・グラフィックス

印刷：株式会社 恒信印刷

製本加工：株式会社 田中紙工

「いたばしカルタ」は著作権上、無断で複写、複製することは禁じられています。